



慶應義塾大学ビジネススクール

日本企業の決算報告 2003

5

< a >

以下に掲げる財務諸表は、現在を代表する日本企業の 2003 年度の決算報告
(セブン-イレブン・ジャパンは 2003 年 2 月期、その他は 2003 年 3 月期) です。ただし
いずれも、商法上の決算公告と同等レベルの簡潔なものです。この程度の要約
財務諸表から、それぞれの企業の体質的な特徴をどのくらい読み取ることがで
きるのでしょうか？

10

現実の世界で見かけるそれぞれの企業の製品、サービスや店舗、新聞紙上な
どで見聞きする情報などをすべて思い起こしながら、企業の実態について推論
をめぐらせてください。

15

(注) 財務諸表中の金額単位は E 社を除きすべて十億円である。E 社のみ百万円単位。

【設問】

(1) A 社から G 社は、下記に掲げた企業のいずれかに対応します。財務諸表を
眺めた上で、どの企業に対応するものか、線で結んでください。

20

- | | | |
|-----|---|-------------------|
| A 社 | ・ | ・(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ |
| B 社 | ・ | ・ヤフー(株) |
| C 社 | ・ | ・ソニー(株) |
| D 社 | ・ | ・(株)セブン-イレブン・ジャパン |
| E 社 | ・ | ・トヨタ自動車(株) |
| F 社 | ・ | ・武田薬品(株) |
| G 社 | ・ | ・(株)武富士 |

25

30

(2) これらの財務諸表から、それぞれの企業の事業構造や体質上の特徴、経
営戦略などに関して、思いつくものをすべて挙げてください。

このケースは慶應義塾大学ビジネススクール 山根 節がクラス討議の資料として作成した。

(2003 年 11 月)